



Episode5

きくち ひでこ 菊池 日出子さん

オリンピックを目指すトライアスロン選手。震災をきっかけに「福島に勇気を」という思いで、練習環境の良い本宮に移り住む。2016年は日本選手権9位、W杯18位の成績を取めた。



福島から東京オリンピックを目指す

本宮での練習の日々

ここ本宮で東京オリンピックを目指す世界大会で戦う人がいる。棚倉町出身のトライアスロン選手・菊池日出子さんだ。千葉の大学を卒業後、宇都宮を拠点に活動が続いていたが、平成23年3月11日東日本大震災が発生。「なにか福島のために自分ができることはないだろうか」と考え、「福島の人たちを勇気づけるのはスポーツ。それが私の役割ではないか」という思いで福島からオリンピックを目指すことを決心した。

福島には、オリンピック対策チームU23女子監督の蓮沼哲哉さんが代表・監督を務める『トライアスロンアカデミー福島』がある。現在、菊池さんもそこに参加し練習を積んでいる。

菊池さんが本宮を選んだ理由は2つ。1つは、交通の便が良いこと。高速のインターが近く、東北道や磐越道へのアクセスが良いため、遠征の

多い菊池さんには最適だった。また、もう1つの理由は、練習環境だ。自転車の練習は

多いときで100キロは走るという。市街地を抜ければ信号機も少なくなり、なだらかな道もあれば起伏に富んだ道もある地形は、自転車の練習コースにぴったりだった。総合運動公園のクロスカントリーコースは、ランの練習に使用している。

そうした本宮での自主練のほかにも、平日昼はスイミングスクールのインストラクターとして働き、夜は選手コースと一緒に泳いでいる。また、木曜の夜と土曜日曜は、トライアスロンアカデミーでの練習もある。練習は生活の大きなウエイトを占めている。

本宮トライアスロン倶楽部のコーチも務める菊池さんの「倶楽部は毎週火曜日午後7時半から総合体育館・市民プールで練習をしています。初心者も大歓迎なのでぜひ来てみてください！」と話してくれた。

今しかない
瞬間を収める

夏祭りや秋祭り。本宮のさまざまな行事を動画に収めている人がいる。ハンチング帽にハンディカム。若竹登喜男さんその人だ。

若竹さんが撮影をはじめたきっかけは仕事だった。百貨店で働いていた若竹さんは、上司に売り場を撮影することを頼まれた。当時、家庭用ビデオカメラが開始されたばかりのころで、その新鮮さに夢中になった。以来、自分でもビデオカメラを購入し、30年以上本宮の自然や行事を取り続けてきた。

「一発勝負だから残さなくちゃ」。なぜビデオを撮るんですかという質問にそう答えた若竹さん。「まちの中の風景は様変わりしていきます。今はかない様子を収めたいんです」。そうした思いで、阿武隈川やまちの風景、伝統行事などを記録し続けている。中でも阿武隈川にはこだわりがあ

り、「これだけ川と密接に関係しているまちはよそにはない」と思い撮影を続けている。

使用してきたカメラはこれまでで7、8台。ベータ形式での記録も今ではSDカードへと変わった。

そんな時代の移り変わりの中で、若竹さんが最近始めたのが撮影した動画のテレビへの投稿だった。これまでに県内放送や全国放送で、何度も撮影した本宮の祭りや伝統行事が放送されてきた。「テレビを使って本宮の良いところをPRできる方法」と考えてのことだ。「本宮の人だけがわかる話をいろんな人に見てもらいたい」「何かよそにないものを撮影して、まちによそから人を呼び込みたい」。また、「本宮に住んでいても、見に行けなかった人が見ることできる」。「本宮の伝統行事の様子を後世まで残していけるよう撮影していきたい」。さまざまな思いから若竹さんは本宮市を撮り続けている。

本宮の良さをいろんな人に見てもらいたい

Episode6

わかたけ と き お
若竹 登喜男さん

本宮南町裡在住。仕事で撮り始めたことをきっかけにビデオ撮影を始めた。家庭用のベータムービーが出たころから現在まで、30年以上本宮の自然や伝統行事などさまざまな動画を撮り続けている。



▶これまで若竹さんが撮影してきたビデオテープの一部。ベータが8ミリに。8ミリがMiniDVに。そしてSDへと。時代の流れで移り変わってきました

